

平成 29 年 度
日本マスターズ 2017 兵庫大会埼玉県予選
兼コバトン杯(女子の部)大会要綱

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
競技部

1. 参加資格

- (1) 埼玉県内在住・在勤の平成 29 年 4 月 1 日現在満年齢 40 歳以上の女子とする。
在勤の場合には、在勤を証明できる書類は準備しておき提出を求められたとき、提示できるようにする。
- (2) 本大会のマスターズ予選に参加する選手は、同時開催のオープンシニア大会に出場することはできない。
- (3) 本大会のマスターズ予選に参加する選手は、JBA に競技者登録済みであること。
- (4) 事前に選手及びベンチスタッフとして、埼玉県予選参加申し込み書に競技者登録された者だけが出場できる。
- (5) チーム内にJBA公認C級コーチ資格以上の指導者を有する。
- (6) 大会参加者として著しく問題があると判断されたチーム・選手については協議の上、参加の可否を連絡する。
- (7) その他、不測の事態においては主催者側、もしくは主管部門で協議し、通達する。

2. 大会規定

2.1 競技方法

- (1) 競技方法については、参加チーム数により主管部門で協議し、決定後各チームに連絡を行う。
- (2) 本大会は、2015～公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則を適用するが、一部ローカルルールを採用する。
- (3) 試合時間は、10分－2分－10分－10分－10分－2分－10分とする。
延長戦は2分休憩後3分間。第2延長戦は2分休憩後、先取得点したチームの勝ちとする。

2.2 ベンチの制限

- (1) ベンチはチーム関係者 5 名(監督・コーチ・Aコーチ・スコアラー・マネージャーなど)と選手15名以内の合計20名以内とする。
- (2) ベンチはオフィシャル席に向かって右側を組み合わせ表の若い番号に記されたチームとする。
リーグ戦の場合は、組み合わせ表の左側のチームがオフィシャルに向かって右側とする。
- (3) 2・2(1)項のメンバーはチームとしての義務を負わなければならないので、その行動は当然審判の権限下におかれる。

2.3 ユニフォーム

- (1) 参加チームは、濃淡2色のユニフォームを用意しなければならない
- (2) 着用するユニフォームの濃淡は、組み合わせ表の若い番号もしくは組み合わせ表の左側のチームが淡色(白)とする。
- (3) ダブルヘッダの2戦目以降は、必要があれば事前にチーム間で話し合い、ユニフォームの濃淡を決めてもよい(必ず事前にコート責任者(協会競技委員会)に連絡し了解を得ること)。

- (4) ユニフォームの番号は、0番から99番とし、異なるプレーヤーに同じ番号を用いてはならない。
- (5) ユニフォームに違反のある場合は出場を認めない。

2.4 キャプテン

キャプテンはそのチームのコート上での代表者である。説明を得たいこと、あるいは是非知りたいことがあるときは、ボールがデッドでゲームクロックが止まっている間なら、審判に尋ねることができる。ただし、どんなときでも礼儀正しく、またていねいでなければならない。

2.5 コーチ・アシスタントコーチ

- (1) コーチはゲーム開始10分前までにチーム・メンバーの氏名・番号、コーチの氏名、アシスタントコーチをおくときにはその氏名のリストをスコアラーに提出する(スコアシートに記入)。
- (2) コーチはゲーム開始5分前までにスコアシートに記入されたチーム・メンバーの氏名・番号、コーチの氏名(アシスタントコーチをおくときはその氏名)を確認し、最初に出場する5人のプレーヤーをスコアキーパーに知らせ、確認のサインをする(スコアシートに記入)。
- (3) 第二試合以降はスコアシートの先行記入を行う(前の試合のハーフタイムを目処とする)。
- (4) コーチがなんらかの理由でコーチを続けられなくなったときは、アシスタントコーチがコーチの役目をする。コーチもアシスタントコーチもコーチの役目ができない場合は、キャプテンがコーチの役目をする。
- (5) コーチだけは、ゲーム中ベンチから立ち続けてもよい。
- (6) タイムアウトを請求できるのは、コーチまたはアシスタントコーチである。

2.6 オフィシャル

組み合わせ表にTO等は記載する。

2.7 不正登録(出場資格がない選手・未登録選手・二重登録)

- (1) 試合開始前に確認した場合
 - ア) 参加申込書に参加資格のない選手が記入されていることが、事前に確認できた場合は、事務局から告知し、その個人は出場出来ない旨、代表者に連絡する。(申込用紙から削除)この時点ではチームとしての参加は許される。
 - イ) 大会当日、メンバー表(スコアシート)の記入が済み、提出完了時に発覚した場合は、没収試合とし、当該チームを失格とする。
- (2) 試合中および試合終了後に発覚した場合、理由の如何を問わず没収試合とする。
- (3) この規定に違反した場合、全国マスターズ出場の推薦権利は取り消される。また協会理事会にて協議し、処罰することがある。処罰は加盟登録の取消し、一定期間の出場停止、その他とする。この罰則は該当選手だけでなく、そのチーム全体に課される場合もあり得る。

2.8 棄権

- (1) 試合開始時刻に遅刻すれば理由の如何を問わず没収試合とする(開始予定時刻から15分で判断)。本規定は第一試合オフィシャルの担当チームにも適用する(オフィシャルは定刻)。この確認はコート責任者(競技委員会)が行う。
- (2) 止むを得ず棄権をする場合は、試合当日の3日前までに競技委員長に連絡すること。
- (3) 止むを得ず棄権をする場合でも、当該チームに割り当てられているオフィシャルは必ず担当する

こと。棄権でゲームが無くなった相手チームも割り当てられているオフィシャルを担当すること。

3. コートの準備および後片づけ

3.1 コートの準備

- (1) コートの準備は第一試合の両チームが試合開始1時間前に集合し、互いに協力して行う。
- (2) 準備範囲は自チーム側ベンチ・リングの設置とする。オフィシャル席・得点板は両チームで行う。

3.2 コートの後片づけ

- (1) 最終試合後は最終試合の両チームで協力してベンチ・リング・シート・コード等の片づけとコート
の清掃を行う。また、両チーム代表者とコート責任者(競技委員会)で体育館内(フロア・観客
席・ロビー等)の点検を行う。
- (2) 当該試合担当のオフィシャルは、オフィシャル用具・椅子・机・得点板等を片づける。

3.3 準備・後片づけを怠った場合

コート責任者(競技委員会)がこれを確認し、罰則を適用する。

4. その他

4.1 会場内でのマナー

- (1) 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会倫理規定を遵守のこと。
- (2) 持ち物の管理、ゴミの始末、会場の清掃は、各チームで責任を持って行うこと。
- (3) アリーナにはお子様は入れません。試合中であっても必ず付き添いをつけ、各チームとも十分に注意すること。
- (4) 指輪、ネックレス、ピアス、ピン止め等の金属類は、ゲームの時は必ず外す。外せないときは、必ずテーピング等をする。
- (5) 学校敷地内は禁煙です。

4.2 事故

- (1) 会場備品・ガラス・ドア・リング・ネット等の破損、ストップウォッチ等の故障等が起きた場合は、速やかにコート責任者(競技委員会)へ連絡すること。
- (2) 大会に於ける練習及び試合中に発生した不慮の事故等については、個人の責任とし、各自スポーツ傷害保険等には必ず加入すること。また、各自、健康保険証を持参すること。

5. 連絡及び問合せ先

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
競技部 泉 炎
携帯 090-4221-3044